

全国大会において支援事業のパネル展を開催しました

建設業労働災害防止協会事業部復旧・復興工事安全衛生対策支援センターは、10月2日・3日に兵庫県神戸市において開催された「第62回建設業労働災害防止大会 in 兵庫」において、自然災害からの復旧・復興工事安全衛生確保支援事業のパネル展を開催しました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で甚大な被害を受けた被災地では、懸命な復旧・復興工事が進められています。工事に携わる建設業者や行政関係者の皆様は、過酷な現場で何よりも「安全」を確保しながら、命と暮らしを支えるインフラの再建に向けて取り組まれています。

パネル展では、「復旧・復興の道を、安全につなぐ」と題して、能登半島地震の発生から当協会における復旧・復興工事に携わる建設業者の皆様への安全衛生確保支援の具体的な取組などをパネルで紹介しました。



来場された方々には、被災地である石川支部で支援活動に従事している山下指導員などから直接、取組の状況について説明させていただきました。中には、熱心に復旧工事の状況を尋ねられ、パネルの写真を撮影される方もおられました。

また、来場された方に、事業の関係資料を入れた大会特製トートバックをお渡ししました。多くの方に御来場いただきありがとうございました。



建設業労働災害防止協会では、自然災害からの復旧・復興工事や防災・減災工事に従事される建設事業者や作業員、発注機関や団体の皆様方を対象に、無料で現場パトロールや安全衛生教育を実施しています。お問合せ・お申込みは、各都道府県自然災害関連工事安全衛生支援センターまで御連絡ください。

